

## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 株式会社 テリロジー

上場取引所 東

コード番号 3356 URL <http://www.terilogv.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 津吹 憲男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 阿部 昭彦

TEL 03-3237-3291

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,744	△5.7	△183	—	△207	—	△209	—
25年3月期第3四半期	1,850	—	△68	—	△84	—	△123	—

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 △204百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △124百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△13.64	—
25年3月期第3四半期	△8.03	—

(注)当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	2,532	878	34.7	57.13
25年3月期	2,816	1,083	38.5	70.46

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 878百万円 25年3月期 1,083百万円

(注)当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純資産を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	13.7	20	—	10	—	10	—	0.65

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、1株当たり当期純利益については、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) — 、 除外 一社 (社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	15,680,000 株	25年3月期	15,680,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	300,000 株	25年3月期	300,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	15,380,000 株	25年3月期3Q	15,380,000 株

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、発行済株式数については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループは、経営環境の変化に適応した販売体制への転換を図ること  
で、顧客基盤の強化・拡大に努めています。

また、当第3四半期からは、自社開発製品「momentum」を中心とした利益率の高い商品の販売強化、厳格な案件  
管理による経費増加の抑制に努めることで、業績の回復、安定成長への基盤づくりに向けた活動に取り組みまし  
た。

当第3四半期連結累計期間における部門別の概要は次のとおりであります。

#### (テレコム部門)

当部門では、スマートフォンの高機能化や、LTEなどの通信ネットワークの高速化に伴い、大規模ネットワー  
クのモニタリング案件を受注したほか、ネットワークのパケットデータ収集ツールに自社開発製品「momentum」が採  
用されるなど、LTE網、IPネットワーク網のネットワーク・モニタリング案件は増加傾向にあります。

また、高速モバイル通信サービス事業者（WiMAX）向けユーザ認証基盤構築案件、電力系ブロードバンドサー  
ビスプロバイダ向けインターネット接続支援ソフトウェア開発案件では、納入作業は順調に推移しています。

しかしながら、当部門の売上を牽引していたWi-Fiサービス向けインフラ構築案件がひと段落したことから、当  
部門の売上高は減少しました。

その結果、売上高は291百万円（前年同期565百万円、前年同期比48.5%減）となりました。

#### (グローバルビジネス部門)

当部門では、前年度、欧州債務危機に端を発した景気低迷の影響がひと段落したことから、国内外の金融・証券  
市場は、再び活性化する兆しを見せています。

しかしながら、前年度より、アジア・パシフィック地域で営業活動を開始したテレコム事業は、展示会などで獲  
得した新規顧客に対する提案活動に努めましたが、当部門の売上に貢献するまでには至りませんでした。

その結果、売上高は35百万円（前年同期22百万円、前年同期比56.1%増）となりました。

#### (エンタープライズ部門)

当部門では、円安に伴う企業収益の改善から、IT投資にも改善の兆しが見られることから、当社の主要顧客であ  
る大手製造業を中心に、ネットワークインフラ構築、ビデオ会議システムなどの受注活動は堅調に推移しました。

また、国内の大手企業や団体を標的にした、巧妙かつ複雑化するサイバー攻撃の増加を受け、入口対策のネット  
ワーク不正侵入防御セキュリティ商品、出口対策の標的型攻撃対策クラウドサービスの引き合いは、引き続き増加  
傾向にあります。

その結果、売上高は602百万円（前年同期449百万円、前年同期比34.1%増）となりました。

#### (保守サービス部門)

当部門では、円安による保守関連経費の上昇に対して、更なる保守業務の内製化と業務委託費の削減に努めてい  
ます。また、保守サービス契約の更新率向上の活動により、当部門の売上高は前年同期比ほぼ横ばいで推移しまし  
た。

その結果、売上高は815百万円（前年同期812百万円、前年同期比0.3%増）となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高1,744百万円（前年同期1,850百万円、前年同期比5.7%  
減）となりました。

損益面では、為替相場の円安傾向に伴う仕入れ価格の上昇を最小限に抑えるため、業務委託の見直しによる外注  
費などの削減、諸経費の見直しによる固定費の削減に取り組みました。

しかしながら、第2四半期までの売上高の減少に伴う営業損失をカバーするまでには至りませんでした。

その結果、営業損失183百万円（前年同期は68百万円の損失）、経常損失207百万円（前年同期は84百万円の損  
失）、四半期純損失は209百万円（前年同期は123百万円の損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結累計期間末における流動資産は、2,092百万円となり、前連結会計年度末に比べ255百万円減少  
いたしました。これは主に現金及び預金が367百万円減少し、受取手形及び売掛金が138百万円減少、商品が97百万  
円増加、前渡金が90百万円増加したことによるものであります。固定資産は440百万円となり、前連結会計年度末  
に比べ27百万円減少いたしました。これは主に無形固定資産が27百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結累計期間末における流動負債は1,582百万円となり、前連結会計年度末に比べ88百万円減少いたしました。これは主に買掛金が81百万円減少し、短期借入金が18百万円減少、前受金が26百万円増加したことによるものであります。固定負債は71百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円増加いたしました。これは主にリース債務が9百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結累計期間末における純資産合計は、878百万円となり、前連結会計年度末に比べ204百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失209百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は34.7%（前連結会計年度末は38.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年10月30日の「平成26年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績との差異及び通期業績予想の修正並びに役員報酬の減額に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,605,097	1,237,233
受取手形及び売掛金	435,035	296,741
商品	2,685	99,830
仕掛品	4,621	6,097
前渡金	279,449	370,005
その他	23,913	84,179
貸倒引当金	△2,752	△2,008
流動資産合計	2,348,050	2,092,079
固定資産		
有形固定資産	115,018	112,139
無形固定資産	108,188	81,058
投資その他の資産	245,270	247,449
固定資産合計	468,477	440,647
資産合計	2,816,527	2,532,727
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	183,462	101,596
短期借入金	910,200	892,000
未払法人税等	7,395	3,274
賞与引当金	19,813	13,672
前受金	460,496	487,021
その他	89,343	84,524
流動負債合計	1,670,711	1,582,088
固定負債		
資産除去債務	10,473	10,473
その他	51,614	61,435
固定負債合計	62,088	71,909
負債合計	1,732,799	1,653,998
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,182,604	1,182,604
資本剰余金	630,370	630,370
利益剰余金	△446,758	△656,478
自己株式	△280,637	△280,637
株主資本合計	1,085,579	875,858
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,003	1,393
為替換算調整勘定	1,152	1,477
その他の包括利益累計額合計	△1,850	2,870
純資産合計	1,083,728	878,729
負債純資産合計	2,816,527	2,532,727

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	1,850,112	1,744,547
売上原価	1,241,140	1,294,016
売上総利益	608,971	450,530
販売費及び一般管理費	677,775	633,793
営業損失(△)	△68,803	△183,262
営業外収益		
受取利息	150	125
受取配当金	1,478	898
その他	108	156
営業外収益合計	1,737	1,179
営業外費用		
支払利息	12,544	12,049
為替差損	2,480	13,325
支払補償費	2,410	—
その他	40	—
営業外費用合計	17,475	25,374
経常損失(△)	△84,541	△207,457
特別利益		
投資有価証券売却益	5,682	—
特別利益合計	5,682	—
特別損失		
商品廃棄損	41,904	—
特別損失合計	41,904	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△120,764	△207,457
法人税、住民税及び事業税	2,835	2,348
法人税等調整額	△102	△85
法人税等合計	2,732	2,262
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△123,496	△209,720
四半期純損失(△)	△123,496	△209,720

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△123,496	△209,720
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,791	4,396
為替換算調整勘定	915	324
その他の包括利益合計	△876	4,721
四半期包括利益	△124,373	△204,998
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△124,373	△204,998
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、情報通信機器販売並びにソフトウェア開発およびネットワーク構築から、納入したネットワークおよび付帯機器の保守サービスに至るITソリューション・サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。